

<主な発表項目>

○ 除雪対策について

- ・本年1月の大雪の教訓を踏まえ、「道路除雪実施計画」に新たに「豪雪編」として、大雪時に対応するための準備や対応等について追加し、新たな取組みで豪雪時の対応を強化する。

<主なものは次のとおり>

- (1) 豪雪時における砺波市独自のタイムラインにより、速やかな「雪害対策本部」への移行を図る。
- (2) 本部の指示を待たず地域の状況を一番把握している除雪委託先の自主判断による出動体制の実施。
- (3) 優先的に除排雪を行う緊急確保路線の指定 など

○ 剪定枝リサイクル大作戦について

- ・11月6日(土)・7日(日)の2日間に「秋の剪定枝リサイクル大作戦」を実施した。
- ・本市が推奨する地域ぐるみで回収・運搬を行う「共助」に取り組む自治会が増えたことや、市職員が立ち合うことで剪定枝以外の混入を妨げるなど、持込み剪定枝の管理が徹底できるなどの利点があった。
- ・利用者から次回開催を望む声が多くあったことを受け、屋敷林所有者の維持管理の負担軽減を図るため、来春3月の実施に向け準備を進めていきたい。(11月市議会定例会補正予算案提出)

○ 砺波市光ケーブル化事業について

- ・本市内のケーブルテレビ網を光ケーブル化する事業は、国及び県の補助等を活用し、早期開局に向けた工事を進めており、すでに7月末には庄東地域の一部などにおいて開局し、残りの事業エリアについても竣工する運びとなった。

○ 新型コロナワクチン接種事業について

- ・3回目接種について、厚生労働省は対象者を2回目の接種を終了し原則8か月以上経過した者に3回目の追加接種をすることとし、ファイザー製のワクチンを使用することを特例承認した。
- ・例外的に地域の感染状況などを踏まえ、6か月経過後に接種することも可能とされた。
- ・接種対象は現時点で18歳以上とされているが、18歳未満については、今後、有効性や安全性についての確認がされ次第、対象年齢の引き下げを検討するとしており、現在、砺波市でも追加接種に向けた準備を進めているところである。

○ 「となみっ子応援基金」の活用について

- ・寄附者からのご意向もあり、早期の事業開始を目指し庁内若手職員との意見交換会、関係部署による庁内検討会を踏まえ、基金活用事業の第1歩として2つの事業を実施する。

(11月市議会定例会補正予算案提出)

(1) 砺波市新生児出産サポート事業〔愛称：こんにちは 新生児はぐくみ事業〕

新生児の誕生を機に出生から子育て時に必要な費用等に対して支援を行い、子どもを産み育てやすい環境づくりへの経費負担面でのサポートを行う。

第1子の場合50,000円、第2子の場合70,000円、第3子以降の場合107,300円

(2) 「“mini² となみーていんぐ” 開催事業

子育て事業全般について子育て中の保護者等から様々な意見やニーズ等を伺い、今後の「となみっ子応援基金」活用のほか、将来の砺波市の発展に向け、カジュアルなミーティングとして開催する。対象者は市内在住の未就学児の保護者等で、公募で多くの若い市民の方のご意見をお聞きしたい。

- ・「となみっ子応援基金」事業開始と同時にふるさと納税の使い道に「基金による少子化対策事業」を追加し、継続的に事業が実施できるよう賛同者を広く募っていく。

○ 「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション 2021」について

- ・「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション」は、今年で10周年を迎える。
- ・実行委員メンバーや企業、ボランティアなど市民の皆さんの協力のもと、工夫を凝らした光の演出によって冬のチューリップ公園内の賑わいを創出したい。
- ・今年完成した新チューリップタワーと、円形花壇での初イルミネーションが見どころ。